

参 考 資 料

< 目 次 >

1. 小児科を標榜する診療所の推移（区毎）	1
2. 小児医療供給体制.....	1
3. こども病院の地区別患者数（H18）	2
4. 小児病床を有する病院.....	3
5. 小児救急医療体制（福岡医療圏）	4
6. 急患センター・急患診療所の診療実績（平成 18 年度）	4
7. 福岡県における小児医療の問題点	5
8. 成育医療について.....	6
9. 救急医療体制（福岡・糸島医療圏）	7
10. 市消防局の救急搬送実績（市内病院のみ）（H18）	7
11. 日本脳卒中学会認定研修教育病院.....	7
12. 災害拠点病院の施設基準.....	8
13. 県内の災害拠点病院一覧.....	8
14. 市内の災害拠点病院（一覧表）	9
15. がんの医療体制	10
16. 市内の緩和ケア病床	11

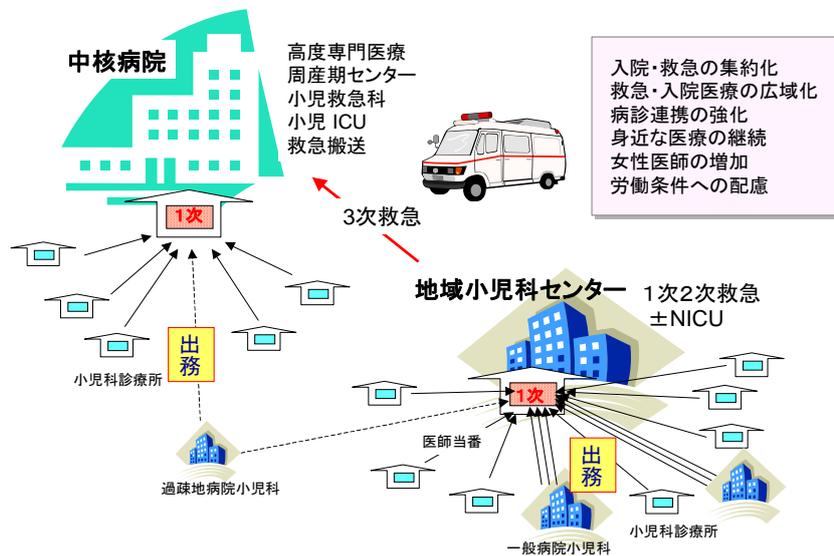
1. 小児科を標榜する診療所の推移（区毎）

	H16	H17	H18
東区	49	46	44
博多区	32	31	31
中央区	30	32	31
南区	34	33	33
城南区	23	21	20
早良区	30	32	32
西区	42	41	37
合計	240	236	228

出典：地域医療課データ

2. 小児医療供給体制

○小児医療の連携イメージ図（日本小児科学会）



出典：日本小児科学会 HP より

○福岡県の小児医療提供体制GDに基づく病院群

中核病院型(+PICU)	5施設	九州大学病院・久留米大学病院	福岡大学病院・福岡市立こども病院・産医大病院
地域小児科センター病院 (救急+NICU型)	4施設	聖マリア病院、福岡徳州会病院	九州厚生年金病院、 国立病院機構小倉病院
〃 (救急型)	7施設	久留米大学医療センター、 麻生飯塚病院、北九州総合病院	大牟田市立病院、国立病院機構福岡東医療センター、福大筑紫病院 北九州市立八幡病院小児救急センター
〃 (NICU型)	2施設	国立病院機構九州医療センター	北九州市立医療センター
一般小児科(病院)	25施設	公立八女総合病院、筑後市立病院 済生会福岡総合病院、浜の町病院 福岡和白病院、福岡千鳥橋病院 牧山中央病院、市立若松病院、 九州労災病院、新小倉病院	甘木朝倉医師会病院、高木病院、九州中央病院、福岡逓信病院、 福岡赤十字病院、国病機福岡病院、千早病院、福岡記念病院、 田川市立病院、社保田川病院、宗像医師会病院、慈恵曾根病院 健和会大手町病院、市立門司病院、健愛記念病院
過疎小児科(病院)	9施設	糸田町立緑ヶ丘病院、川崎町立病 院 寺沢病院、筑前山田赤十字病院	町立額田病院、声屋中央病院、 みやげ病院、水戸病院、宮田病院

出典：福岡市立こども病院・感染症センターより入手

3. こども病院の地区別患者数（H18）

区 分	外 来				入 院			
	新患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	新患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)
東区	723	9.0	6,455	8.7	441	8.2	4,280	7.6
博多区	490	6.1	4,647	6.2	289	5.3	2,318	4.1
中央区	637	7.9	5,820	7.8	340	6.3	3,664	6.5
南区	456	5.7	5,179	6.9	292	5.4	2,885	5.1
城南区	303	3.8	2,555	3.4	182	3.4	1,715	3
早良区	1,088	13.5	8,509	11.4	662	12.2	5,857	10.4
西区	1,012	12.6	8,740	11.7	657	12.2	6,226	11
福岡市計	4,709	58.5	41,905	56.2	2,863	53	26,945	47.8
春日市	189	2.3	2,175	2.9	122	2.3	1,171	2.1
筑紫野市	110	1.4	938	1.3	58	1.1	786	1.4
大野城市	178	2.2	2,198	2.9	125	2.3	1,081	1.9
太宰府市	97	1.2	1,005	1.3	52	1	652	1.2
宗像市	77	1	913	1.2	53	1	426	0.8
古賀市	109	1.4	937	1.3	56	1	462	0.8
前原市	251	3.1	2,644	3.5	231	4.3	1,888	3.3
筑紫郡	84	1	943	1.3	47	0.9	323	0.6
糟屋郡	770	9.6	6,067	8.1	442	8.2	3,974	7.1
宗像郡	50	0.6	627	0.8	37	0.7	291	0.5
糸島郡	89	1.1	961	1.3	68	1.3	692	1.2
福岡都市圏計	2,004	24.9	19,408	26	1,291	23.9	11,746	20.8
福岡都市圏外	363	4.5	4,462	6	276	5.1	3,637	6.5
福岡県内（市内を除く）計	2,367	29.4	23,870	32	1,567	29	15,383	27.3
佐賀県	148	1.8	1,915	2.6	125	2.3	1,798	3.2
長崎県	253	3.1	2,304	3.1	203	3.8	2,571	4.6
熊本県	70	0.9	694	0.9	62	1.1	1,061	1.9
大分県	83	1	802	1.1	73	1.4	953	1.7
宮崎県	34	0.4	377	0.5	53	1	998	1.8
鹿児島県	83	1	905	1.2	129	2.4	2,210	3.9
沖縄県	15	0.2	87	0.1	21	0.4	326	0.6
九州計	686	8.5	7,084	9.5	666	12.3	9,917	17.6
中国・四国	106	1.3	1,002	1.3	97	1.8	1,554	2.8
その他	175	2.2	675	0.9	213	3.9	2,564	4.5
福岡県外計	967	12	8,761	11.8	976	18.1	14,035	24.9
合 計	8,043	100	74,536	100	5,406	100	56,363	100

出典：こども病院年報（H18）

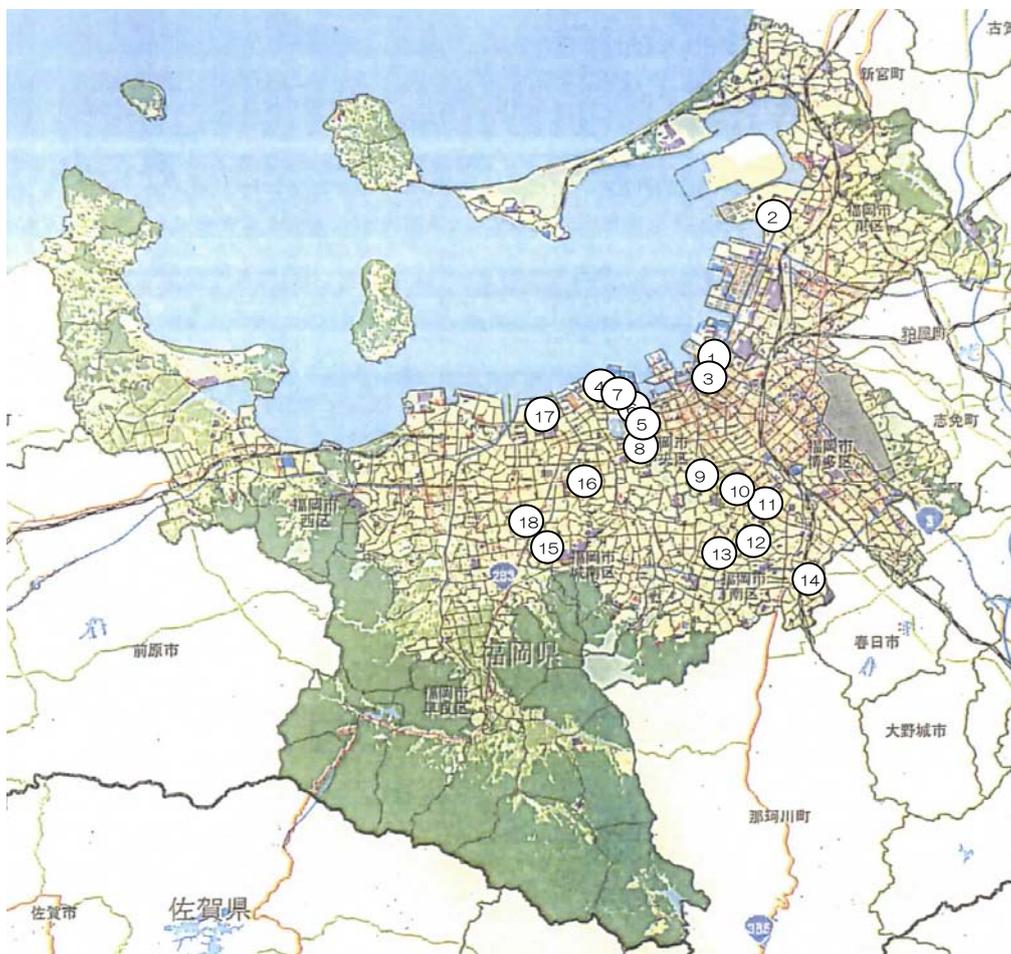
4. 小児病床を有する病院

○一覧表

No	場所	病院名	総病床数
①	東区馬出	九州大学病院	1275
②	東区千早	国家公務員共済組合連合会千早病院	200
③	博多区千代	千鳥橋病院	336
④	中央区地行浜	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	700
⑤	中央区天神	福岡県済生会福岡総合病院	384
⑥	中央区舞鶴	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	520
⑦	中央区唐人町	福岡市立こども病院・感染症センター	214
⑧	中央区薬院	福岡逡信病院	192
⑨	南区市崎	(医) 寺沢病院	86
⑩	南区大楠	福岡赤十字病院	509
⑪	南区塩原	公立学校共済組合九州中央病院	330
⑫	南区野多目	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	411
⑬	南区屋形原	独立行政法人国立病院機構 福岡病院	368
⑭	南区日佐	白濱病院	80
⑮	城南区七隈	福岡大学病院	915
⑯	城南区鳥飼	福岡鳥飼病院	178
⑰	早良区西新	福岡記念病院	220
⑱	早良区千隈	(医) 社団誠和会牟田病院	163

出典：地域医療課

○病院分布図



5. 小児救急医療体制（福岡医療圏）

二次医療圏	初期救急医療体制						二次救急医療体制			三次救急医療体制	小児救急医療電話相談事業
	休日夜間急患対応			在宅当番医制			24時間365日			救命救急対応	
	24時間365日体制	準夜帯365日	その他(土・日等)	在宅当番(平日準夜)	在宅当番(日祭の昼間)	開業医が二次病院へ出務	当直体制		小児救急医療支援事業		
福岡系島	2カ所		5カ所		1医師会		6病院	九州大学病院 (国)福岡病院 (国)九州医療センター (市)こども病院・感染症センター 福岡大学病院 福岡赤十字病院		3病院	1回線
粕屋			2カ所								
宗像	1カ所										
筑紫					1医師会(筑紫)	2病院	福岡徳州会病院 福岡大学筑紫病院	(2病院)			

出典：福岡県保健医療計画(案)H20.1.21より抜粋

6. 急患センター・急患診療所の診療実績（平成18年度）

○ 急患診療センター

区分 (診療日数)		平日 (244)	休日 (65)	土曜 (50)	盆 (2)	年末年始 (4)	合計 (365)
昼間	内科		3,210			395	3,605
	小児科		6,920			528	7,448
	外科		1,249			118	1,367
	産婦人科		311			31	342
	眼科		2,181			212	2,393
	耳鼻咽喉科		3,177			380	3,557
	計	0	17,048	0	0	1,664	18,712
	1日当り	0.0	262.3	0.0	0.0	416.0	51.3
準夜	内科	3,944	2,653	1,420	63	233	8,313
	小児科	7,602	5,855	3,683	143	383	17,666
	外科		905			54	959
	産婦人科		197			20	217
	眼科		1,016			81	1,097
	耳鼻咽喉科		1,569			139	1,708
	計	11,546	12,195	5,103	206	910	29,960
	1日当り	47.3	187.6	102.1	103.0	227.5	82.1
深夜	内科	2,289	843	877	35	102	4,146
	小児科	4,782	1,856	2,036	61	179	8,914
	外科		106			17	123
	産婦人科		54			2	56
	眼科						0
	耳鼻咽喉科						0
	計	7,071	2,859	2,913	96	300	13,239
	1日当り	29.0	44.0	58.3	48.0	75.0	36.3
合計	内科	6,233	6,706	2,297	98	730	16,064
	小児科	12,384	14,631	5,719	204	1,090	34,028
	外科	0	2,260	0	0	189	2,449
	産婦人科	0	562	0	0	53	615
	眼科	0	3,197	0	0	293	3,490
	耳鼻咽喉科	0	4,746	0	0	519	5,265
	計	18,617	32,102	8,016	302	2,874	61,911
	1日当り	76.3	493.9	160.3	151.0	718.5	169.6

○ 急患診療所

区分 (診療日数)		休日 (65)	年末年始 (4)	合計 (69)	
東	昼間	内 科	628	103	731
		小児科	1,869	174	2,043
	計	2,497	277	2,774	
博多	昼間	内 科	470		470
		小児科	490		490
	計	960		960	
南	昼間	内 科	733	90	823
		小児科	1,751	138	1,889
	計	2,484	228	2,712	
城南	昼間	内 科	577		577
		小児科	847		847
	計	1,424		1,424	
西	昼間	内 科	560	102	662
		小児科	952	97	1,049
	計	1,512	199	1,711	
合計	昼間	内 科	2,968	295	3,263
		小児科	5,909	409	6,318
	計	8,877	704	9,581	
合計	準夜	内 科		105	105
		小児科		148	148
	計		253	253	
計		8,877	957	9,834	
1日当り		136.6	239.3	142.5	

出典：地域医療課データ

7. 福岡県における小児医療の問題点

◇中核病院の問題

福岡地方会モデル案策定委員会

九州大学病院・久留米大学病院・福岡大学病院・産医大病院・福岡市立こども病院

マンパワーの問題に尽き、PICU施設の有無、初期救急の実施が本に行なえるか？
等の問題点が整理されていない

◇地域小児科センターの問題

- 救急+NICU型：聖マリア病院、福岡徳州会病院、
(5施設) 九州厚生年金病院、国療小倉病院、麻生飯塚病院
- NICU型(2施設)
国療九州医療センター
- 救急のみ型：大牟田市立病院、久留米大学医療センター、
(6施設) 福大筑紫病院、国療福岡東医療センター
北九州市立医療センター
- 北九州総合病院、市立八幡病院小児救急センター

以上、11病院がすべて初期救急医療を行っているが、開業医参加型は聖マリア病院、
福大筑紫病院、福岡徳州会病院、麻生飯塚病院の4施設だが、急患センターと並立！

◇一般病院小児科の問題

一定の分娩数のある下記の病院群は、統廃合は困難であり、小児科医が少なく
済生会福岡病院・福岡赤十字病院・浜の町病院・筑後市立病院・公立八女総合病院
社保田川病院・田川市立病院・健和会大手町病院

ハイリスクベビーは取り扱わなくとも、分娩立会いなどで、地域小児科センターへの
救急出務は困難である

◇現状と今後の課題

過疎病院・一般病院小児科の統廃合の短期的な実施は、派遣大学医局の思惑や
地域行政・社会との関係で困難な一面が多く、長期的視野に立って、用意周到な準備・
根回しが必要。行政も医師会も決定権を持っていないために、やや消極的であり、
何と云っても、大学医局の決定権次第であり、大学医局間の協働が不可欠と思われる。

出典：日本小児科学会「各地方会のモデル案・平成19年5月」

8. 成育医療について

○成育医療とは

小児科のサブスペシャリティを構成する多くの専門領域の慢性・難治性疾患について、診断・治療上の進歩はめざましいものがあった。小児期に発症した多くの慢性疾患患者が、病気を有しながら良好な QOL を保って思春期となり、さらに成人となっている。このような、いわゆる小児慢性疾患のキャリアオーバー成人患者が近年増加しているが、従来の医療体制の中ではさまざまな困難な問題が生じている。従来の小児科における診療の枠におさまらないこれらの患者の医療を、内科その他関係する他科と連携して継続的、包括的に行っていくことは、今後の小児医療の課題である。

一方、新生児医療が着実に進歩し、さらに出生前診断がさまざまな方法でさまざまな疾患について行われるようになった。胎内で診断された先天性疾患について、胎内において内科的・外科的治療を行う胎児医療も実際に行われようとしている。

ここでも、新生児科、産科、小児外科その他多くの専門診療科の連携・協働が不可欠である。

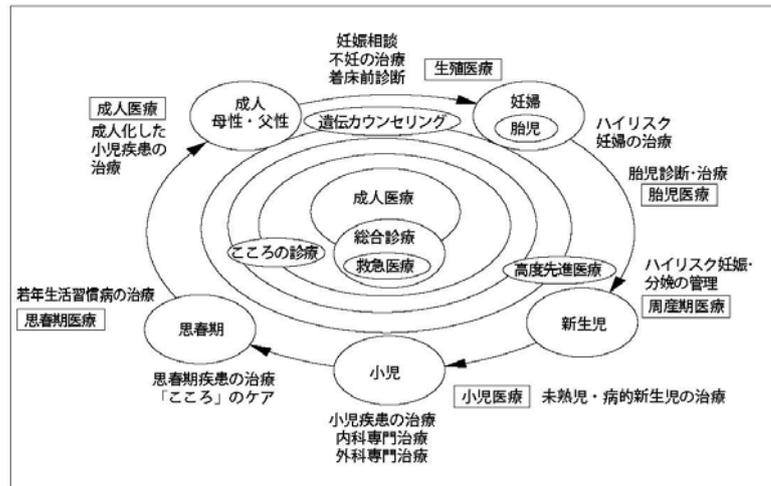


図 国立成育医療センターで行われる医療の内容

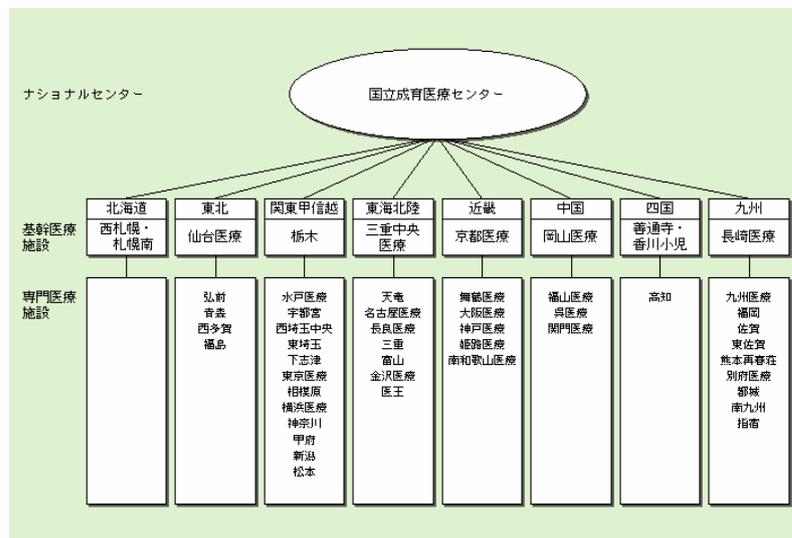
出典：日本医学会 100 周年記念シンポジウム「成育医療の現状と展望」

○成育医療の現状（国立成育医療センターを中心としたネットワーク）

（中略）

国が担うべき政策医療の一つである成育医療分野では、国立成育医療センターを中心とした「成育医療政策医療ネットワーク」を構築し、独立行政法人国立病院機構のネットワーク構成施設と連携して、医療の質の向上のための研究の推進や標準的医療等の普及に取り組んでいる。

特に、国立成育医療センターでは、生殖、妊娠、胎児期、周産期、新生児期、小児期、思春期、成人期に至る一連のサイクルに関わるすべての身体的、精神的疾患を対象とした高度先駆的医療、医療従事者への教育研修、治療に直結した臨床研究及び全国の医療機関等へ医療情報の発信に取り組んでいる。



出典：平成 19 年版「少子化社会白書」

9. 救急医療体制（福岡・糸島医療圏）

(H19.4.1 現在)

初期救急医療体制										二次救急医療体制		三次救急医療体制			
在宅当番医制					休日夜間急患センター					救急告示	病院群輪番制	救命救急センター			
群市医師会	平日		日・祭日		施設名	平日		土曜	日・祭日						
	夜間	深夜	昼間	夜間		深夜	深夜	深夜	昼間				夜間	深夜	
										準夜	深夜	準夜			深夜
福岡市医師会					福岡市立東急患診療所					●		19 医療機関	25 医療機関	済生会 福岡大学病院 九州大学病院	
					福岡市立博多急患診療所					●					
					福岡市立南急患診療所					●					
			○	○	福岡市立城南急患診療所					●		26 医療機関	42 医療機関		
					福岡市立西急患診療所					●					
					福岡市立急患診療センター	●	●	●	●	●	●				●
					糸島地区休日夜間急患センター	●	●	●	●	●	●				●

出典：福岡県保健医療計画(案)H20.1.21 より抜粋

10. 市消防局の救急搬送実績（市内病院のみ）（H18）

	搬送人数	死亡	重症	中等傷	軽傷
三次救急施設 (九大、福大、済生会)	5,802	26	1,103	2,862	1,811
二次救急施設 (41施設)	36,456	59	2,330	17,399	16,668
合計	42,258	85	3,433	20,261	18,479

出典：福岡市消防局

11. 日本脳卒中学会認定研修教育病院

病院名	場所
九州大学病院	東区馬出
福岡和白病院	東区和白丘
千鳥橋病院	博多区千代
福岡市民病院	博多区吉塚本町
済生会福岡総合病院	中央区天神
浜の町病院	中央区舞鶴
九州医療センター	中央区地行浜
福岡赤十字病院	南区大楠
九州中央病院	南区塩原
福岡大学病院	城南区七隈
白十字病院	西区石丸

出典：脳卒中学会HP

1 2. 災害拠点病院の施設基準

(中略)	
3	設置方針
(1)	基幹災害医療センター 原則として各都道府県に一か所設置するものとする。
(2)	地域災害医療センター 原則として二次医療圏に一か所設置するものとする。
4	整備基準
(1)	災害拠点病院として、必要な施設を有するものとする。 ア 病棟(病室・集中治療室等)、救急診療に必要な診療棟(診察室、検査室、エックス線室、手術室、人工透析室等)、災害時における患者の多数発生時に対応可能な居室等及び簡易ベッド等の備蓄倉庫 イ 救急診療に必要な診療棟は耐震構造であること。 ウ 電気等の生活必需基盤の維持機能 エ 基幹災害医療センターにおいては、災害医療の研修に必要な研修室 オ 原則として、病院敷地内にヘリコプターの離発着場を有すること。 やむなく病院敷地内に離発着場の確保が困難な場合は、病院近接地に非常時にも使用可能な離発着場を確保すること。
(2)	災害拠点病院として、必要な診療設備等を有するものとする。 ア 広域災害・救急医療情報システムの端末 イ 多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うために必要な診療設備 ウ 患者の多数発生時用の簡易ベッド エ 被災地における自己完結型の医療救護に対応できる携行式の応急用医療資器材、応急用医薬品、テント、発電機等

出典：厚労省通知

1 3. 県内の災害拠点病院一覧

病院名	病床数	備考				
		高度救命救急センター	救命救急センター	救急病院	DMAT指定医療機関	特定機能病院
国立病院機構九州医療センター ※基幹	700			○	○	
済生会福岡総合病院	384		○	○	○	
福岡大学病院	915		○		○	○
九州大学病院	1,275		○		○	○
福岡赤十字病院	509			○		
福岡和白病院	317			○		
久留米大学病院	1,210	○			○	○
聖マリア病院	1,390		○		○	○
大牟田市立総合病院	350			○		
飯塚病院	1,116		○	○	○	
田川市立病院	342			○		
北九州市立八幡病院	439		○	○	○	
産業医科大学病院	618					○
北九州総合病院	360		○	○	○	
北九州市立医療センター	636					
健和会大手町病院	642			○		
九州厚生年金病院	575			○		

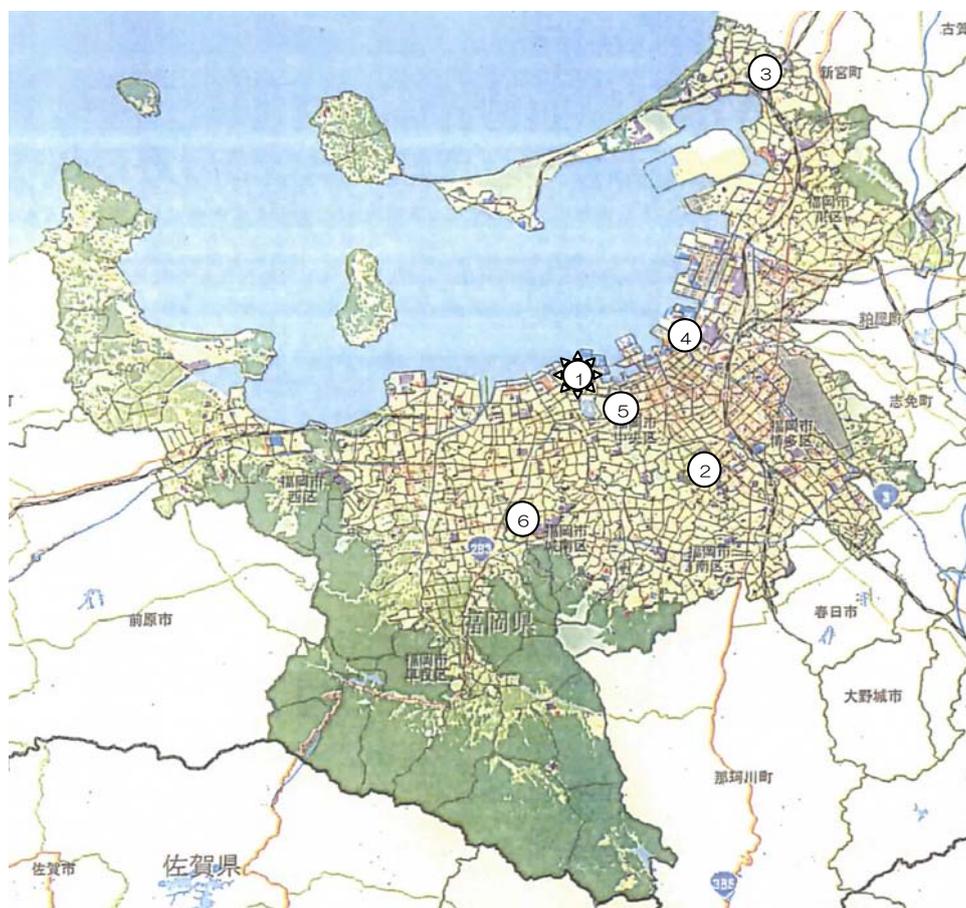
出典：福岡県保健医療計画(案)H20.1.21に一部加筆

1 4. 市内の災害拠点病院（一覧表）

○一覧表

No	病院名	住所	診療科	病床数
①	九州医療センター ※基幹	中央区地行浜	内科, 呼吸, 消化, 循環, 内分泌, 血液, 腎臓, リウ, 整形, 形成, 脳外, 呼外, 心血, 消外, 乳外, 眼科, 耳鼻, 皮膚, 口外, 泌尿, 麻酔, 産科, 婦人, 小児, 小外, 精神, 神内, 放射	700
②	福岡赤十字病院	南区大楠	内科, 呼吸, 消化, 循環, 内分泌, 腎臓, 肝臓, 外科, 整形, 形成, 脳外, 呼外, 心血, 消外, 乳外, リハ, 眼科, 耳鼻, 皮膚, 歯科, 口外, 泌尿, 麻酔, 産婦, 小児, 精神, 放射	509
③	福岡和白病院	東区和白丘	内科, 呼吸, 消化, 循環, リウ, 外科, 整形, 脳外, 呼外, 心血, 乳外, リハ, 眼科, 耳鼻, 口外, 泌尿, 麻酔, 神内, 放射	317
④	九州大学病院	東区馬出	内科, 呼吸, 消化, 循環, 内分泌, 血液, 腎臓, 肝臓, リウ, 外科, 整形, 脳外, 呼外, 心血, 乳外, リハ, 眼科, 耳鼻, 皮膚, 矯正, 口外, 泌尿, 麻酔, 産婦, 小児, 小外, 小歯, 精神, 神経, 神内, 心療, 放射	1,275
⑤	済生会福岡総合病院	中央区天神	内科, 呼吸, 消化, 循環, 外科, 整形, 形成, 脳外, 眼科, 耳鼻, 皮膚, 歯科, 泌尿, 麻酔, 産婦, 小児, 精神, 神内, 心療, 放射	384
⑥	福岡大学病院	城南区七隈	内科, 呼吸, 消化, 循環, 血液, 腎臓, アレ, リウ, 外科, 整形, 形成, 脳外, 呼外, 心血, リハ, 眼科, 耳鼻, 皮膚, 歯科, 口外, 泌尿, 肛門, 麻酔, 産婦, 小児, 小外, 精神, 神経, 放射	915

○病院分布図



15. がんの医療体制

◆ がんの医療体制

	予防	標準診療	集学的診療	療養支援
機能	がんを予防する機能	標準的ながん診療機能	専門的ながん診療機能	在宅療養支援機能
医療提供施設 (診療従事者、医療施設、診療機器)等	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルス精密健診機関においては肝臓専門医がいること。 ・施設内禁煙を実施していること(が望ましい) ・がん検診に必要な機器(マンモグラフィ等)があること ・施設内禁煙を実施していること(が望ましい)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんを専門とする医師等がいること。 ・診断治療に必要な専門的な検査治療機器があること。 ・外来化学療法室があること(が望ましい)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフ(放射線治療専門医、化学療法専門医、病理診断医、がん認定看護師、がん専門薬剤師、臨床心理士、診療情報管理士等)がいること。 ・専門的な緩和ケアチームを配置していること。 ・放射線治療装置等、特殊な検査治療機器があること。 ・外来化学療法室があること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院においては、緩和ケア病棟を有すること(が望ましい)。
実施する診療処置等	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに係る精密検査を実施していること。 ・精密検査の結果を検診機関等にフィードバックしていること。 ・禁煙外来を実施していること(が望ましい)。 ・肝炎ウイルス精密健診機関においては、肝疾患専門外来を実施していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病理、画像診断が実施可能であること。 ・手術療法又は化学療法が実施可能であること ・診療ガイドラインに準じた診療が実施可能であること。 ・治療の初期段階から緩和ケアを実施していること。 ・喪失した機能のリハビリテーションが実施可能であること。 ・がん診療連携拠点病院や在宅療養支援機能を有する医療機関等と、連携が可能であること。 ・禁煙外来を設置していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集学的治療(手術、化学療法、放射線治療)が実施可能であること。 ・多臓器のがん治療が実施可能であること。 ・専門的な緩和ケアを外来で実施可能であること。 ・治療の初期段階から緩和ケアを実施していること。 ・セカンドオピニオンが提供できること。 ・喪失した機能のリハビリテーションが実施可能であること ・標準様式による院内がん登録を実施していること。 ・相談体制を確保していること。 ・情報の収集・発信、患者・家族の交流の支援等を実施していること。 ・研修・公開カンファレンスを定期的に行っていること。 ・標準的ながん診療機能や在宅支援機能を有する医療機関等と、診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能であること(退院後の緩和ケアを含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りを含めた終末期ケアなど、24時間対応が可能な在宅医療を提供していること(が望ましい)。 ・疼痛等に対する緩和ケアが実施可能であること。 ・医療用麻薬を提供できること。 ・標準診療や専門診療を行うがん診療機能を有する医療機関と診療情報や治療計画を共有するなどの連携が行えること。
医療機関等の例	病院、診療所	病院、診療所	がん診療連携拠点病院、がんを専門とする医療機関	診療所、ホスピス、緩和ケア病棟を有する病院、薬局、訪問看護ステーション等

出典：福岡県保健医療計画(案)H20.1.21

16. 市内の緩和ケア病床

施設名	場所	病床数
医療法人 原土井病院	東区	20床
社団法人福岡医療団 たたらリハビリテーション病院	東区	21床
特定医療法人社団 至誠会 木村病院	博多区	14床
医療法人 AGIH 秋本病院	中央区	16床
医療法人にゅうわ会 及川病院	中央区	15床
医療法人喜悦会 那珂川病院	南区	20床
医療法人社団恵光会 原病院	南区	15床
医療法人社団江頭会 さくら病院	城南区	14床
医療法人財団華林会 村上華林堂病院	西区	16床
合計		151床

出典：国立がんセンターがん対策情報センターHP